

ミドル社員の介護離職防止 のためにできることは？



輝く女性管理職ネットやまぐち 3期生
両立支援・働き方(育児・介護との両立)
前田 英子 常森 慶子
大野 由起子 内山 ユリ
里 あい子(オブザーバー)

目次

- ◆テーマ選定の背景

 - 介護離職の増加

- ◆問題と原因

- ◆課題と対応策

 - 両立準備セミナーのPR、専用相談窓口の設置

 - 40代からの介護両立準備セミナー開催

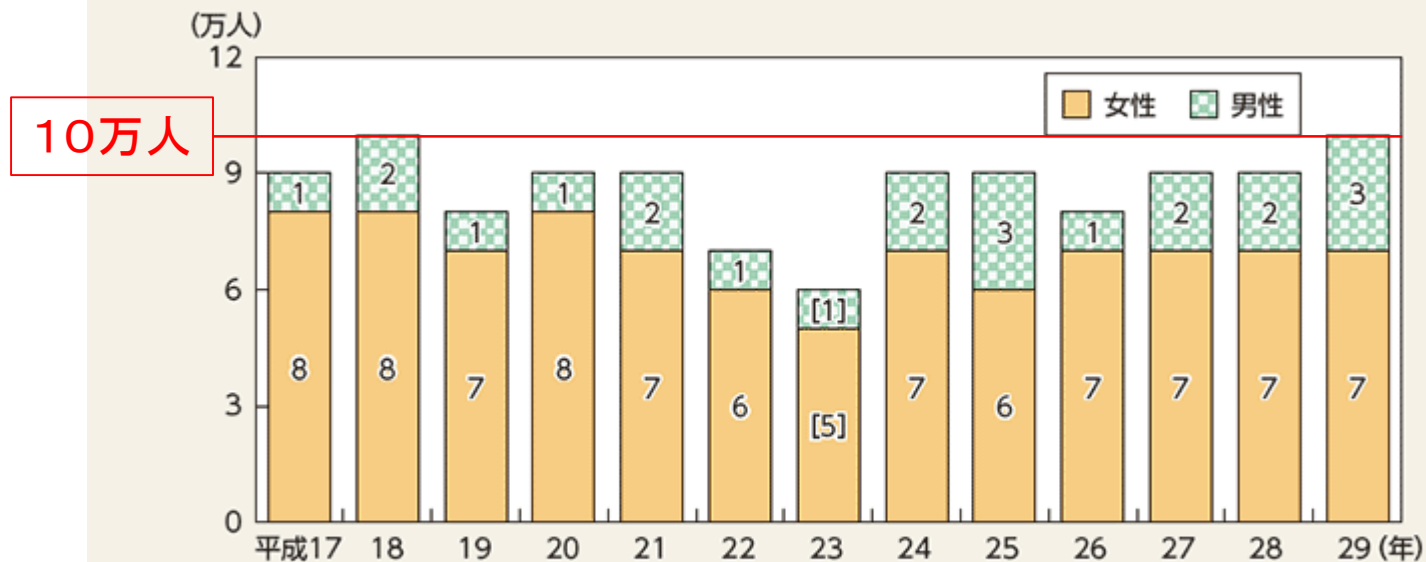
 - 家族や職場と両立策を話し合う

- ◆まとめ

◆テーマ選定の背景

①すでに年間10万人が介護離職をしている(H29)

I-3-12図 介護・看護を理由とした離職者数の推移 (男女別)



- (備考) 1. 総務省「労働力調査(詳細集計)」より作成。
2. 前職が非農林業雇用者で過去1年間の離職者。
3. 平成23年の数値([]表示)は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。

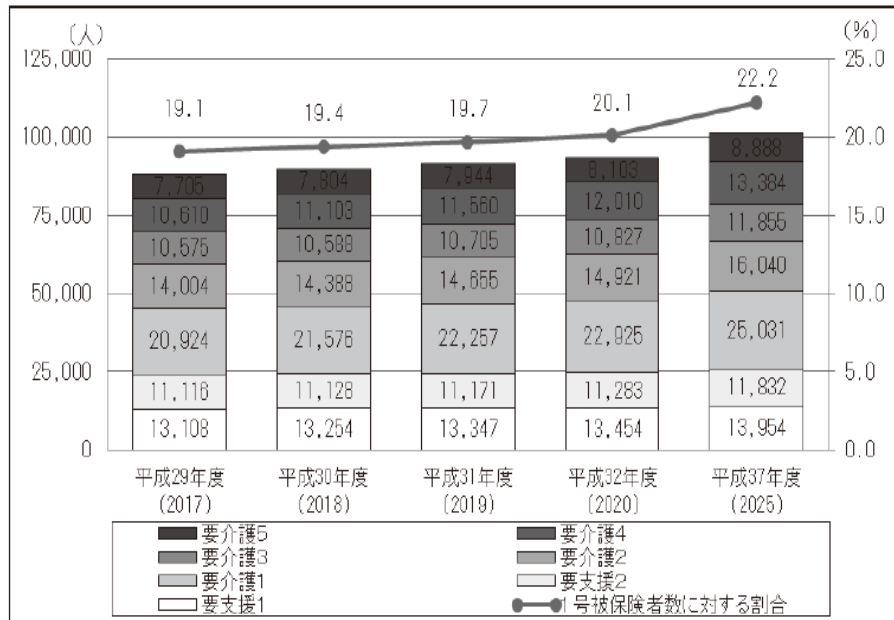
② 団塊世代の高齢化(全国)

→ かつ山口県は10年早く高齢化が進んでいる

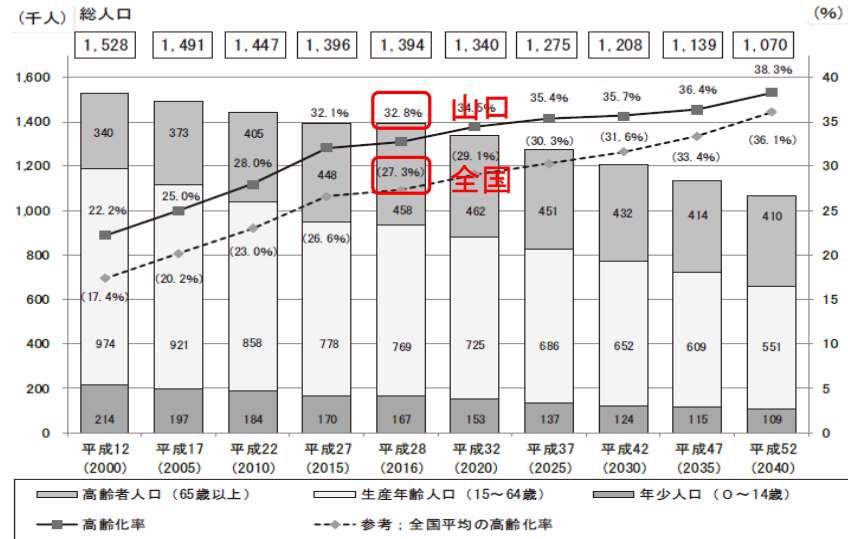
→ 介護担うのは40~50代ミドル層(経営打撃)

- 高齢化に伴い要支援・要介護認定者数等について増加する見込み
- 団塊世代も平成37年(7年後)には75歳以上になる
- 独身・共働き世帯増加、かつての主婦・嫁介護は成り立たない → **未経験の領域へ**

【図1-2-2】第1号被保険者における要支援・要介護認定者数の推計

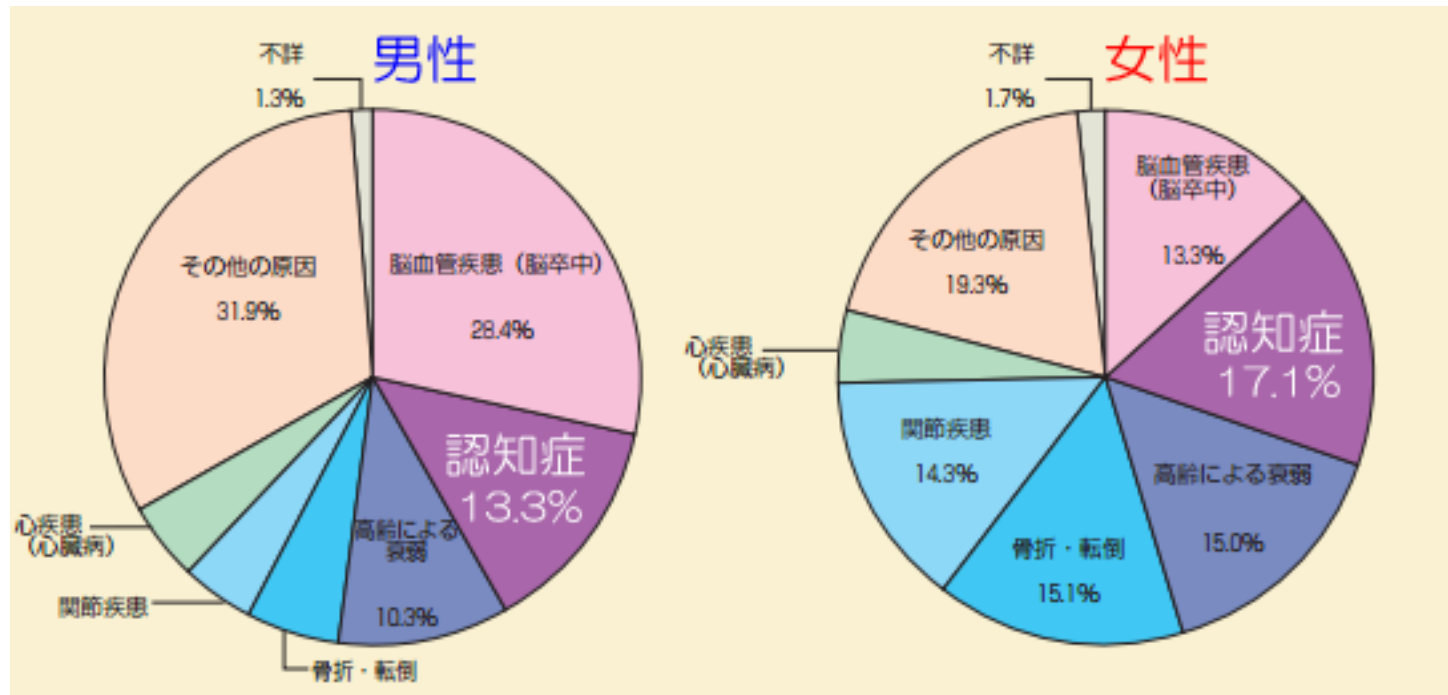


【図1-1-1】山口県の人口の将来推計



(注) 平成27(2015)年以前の総人口には、年齢不詳分を含まない。
 [資料] 平成27(2015)年以前:「国勢調査」(総務省)
 平成28(2016)年:「推計人口」(総務省)
 平成32(2020)年以降:「日本の都道府県別将来推計人口(平成25年3月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)

知っていますか？ 介護は突然起こるのが50%以上！



明日突然介護が起こると何が起こる？



「だれが面倒見るの？」

「介護の費用はだれがだすの？」

「親本人はどうしたいのかな。。。」

「どこに相談しよう。。。」

「介護っていつまでだろう？」

「とても両立できそうにはない。。。」



→迷惑かけないよう、仕事をやめよう。。。

介護離職のデメリット

・会社にとって

- 「突然の」40～50代ベテラン社員退職、戦力ダウン・他の社員の負担増
- 引継ぎ不足や負担増による仕事レベル低下・社員疲労蓄積
- 会社の信用低下・業績低下の可能性？

・個人にとって

- 収入源喪失、介護費用負担(在宅で月平均7万9千円)
- キャリア分断により再就職条件悪化(四分之三が無職)
- 将来への不安増大
- ひいては地域経済の疲弊につながる？



◆問題と原因

1. 個人の問題

- ・会社には相談しにくい(しても仕方がない)

→介護は個人的なこと。会社や同僚・部下に迷惑かけられない。。。

- ・職場(周囲)の理解が得られにくい

→突然の休業や欠勤で迷惑かける上、介護は続く(4割が4年以上)。。。

- ・仕事と介護の両立に関する情報・準備不足

→突然の介護発生に、仕事量は変わらず両立を準備する間もなく、離職。。。

→責任感あるミドルほど、会社に迷惑をかけたくない。。。

1-1) 山口県の介護休業取得状況 (H27. 4. 1~H28. 3. 31)

年度	女性対象者	女性取得者	取得率	男性対象者	男性取得者	取得率
26	8,893 人	15 人	0.17%	13,166 人	1 人	0.01%
28	19,381 人	59 人	0.30%	39,433 人	19 人	0.05%

※H26：県：雇用管理実態調査(1回/3年)

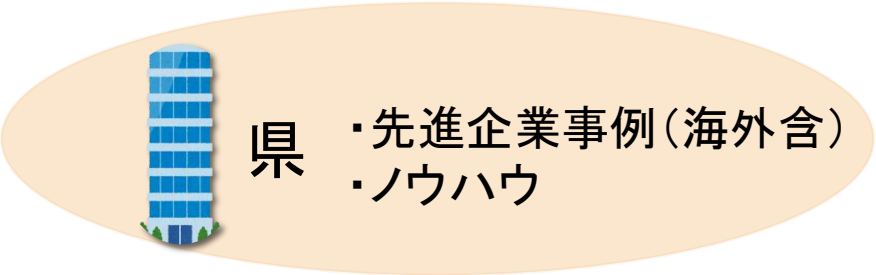
1-2) 介護従業制度の規程状況

番号	項目	件数	比率
1	規定している	576	79.1%
2	規定していない	87	12.0%
3	検討中	46	6.3%
99	無回答	19	2.6%
	合計	728	100.0%

◆問題と原因

2. 会社の問題

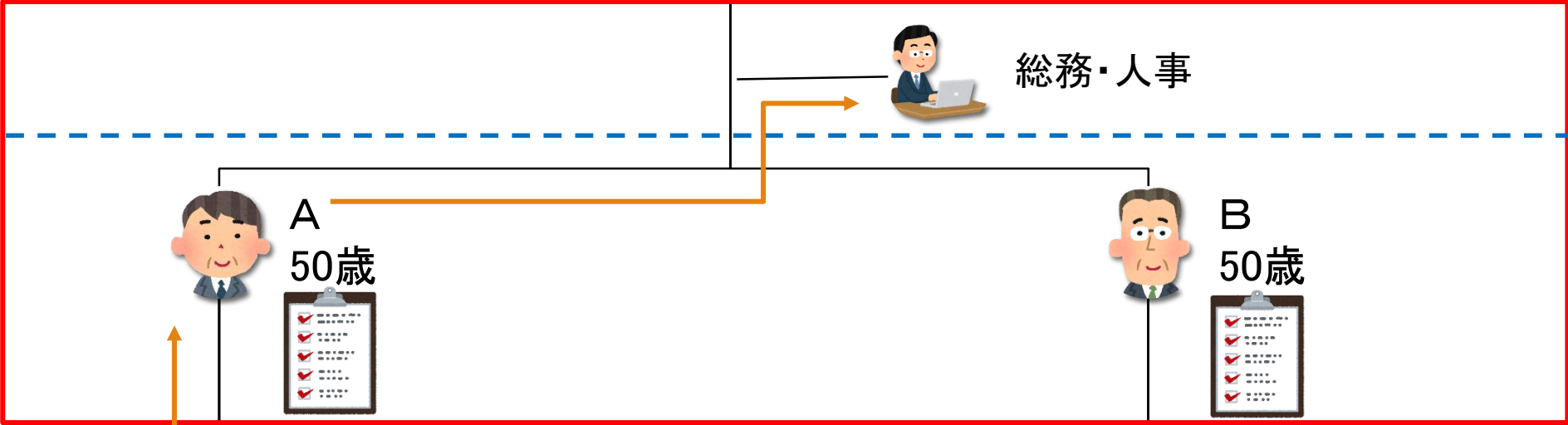
- ・個人の課題として認識される傾向が未だあり、労務管理上の重要課題(危機管理)と経営層や人事が認識していない。
- ・制度等の運用経験がまだ少なく、情報発信にも着手できていない。
- ・両立可能な仕事の仕方・仕組みもほぼ未着手。



社長

I 県主催

II



総務・人事



A
50歳



B
50歳



①
50歳



②
40歳



③
20歳



④
50歳



⑤
40歳



⑥
20歳

◆課題と対応策

【行政編】

- ・両立準備ハッピーシートと人事・管理職セミナーの企画・開催
（Ⅰ対象＝人事・管理職が具体的に組織内で準備する為の、Ⅰが興味を持ち、仕事・チーム改革に活かせる一流講師招聘）
- ・介護離職防止 専用相談窓口の設置 及び情報提供支援
例：福岡市 市役所内に「働く人の介護サポートセンター」等

【会社編】

- ・セミナー参加支援（Ⅰ対象）
- ・ハッピーシートで現状把握（社員状況・希望）・会社の方針や制度、県の専用窓口や両立の実例の情報提供（Ⅱ対象）

◆課題と対応策

【個人編(主にⅡ対象)】

- ・40代から「事前に」準備を行い、
解りやすい情報で関心を持ってみてもらえる
ように、働く人が自分のこととして考え、準備が
始められる情報提供の仕方をする。



いつか来る！介護両立・働き方準備セミナー

いつか来る！介護両立・ 働き方準備セミナー

準備

- ハッピーシート記入 →自分のこととして考える

セミナー
開催

- 講師からのアドバイス →情報提供、相談先

セミナー
後

- 話すきっかけづくり →親、会社

ハッピーシート

ある日突然介護が発生！その時あなたはどうする？

- 親の要望は聞いている？
在宅介護、老人ホーム…
- どのくらいのお金がかかるの？また、準備は？
親本人、子供、兄弟で分担…
- 誰が何をするか役割分担を決めている？
手、時間、金、頭、心…
- どこに相談する？

- 仕事を辞めたい？or働きたい？

- 介護と仕事を諦めずにすむためには？
会社と働き方について、勤務シフト変更…
- 地域との関係づくりしていますか？

- 予防運動をしている？
転倒予防運動…

◆まとめ

～突然の介護で離職しないために～

■行政への要望提案

- ・人事・管理職準備セミナーの企画・開催と一般社員情報提供後方支援、専用相談窓口の設置

■会社への要望提案

- ・人事・管理職セミナー参加支援と、40代からの一般社員介護両立準備ハッピーシート取組や情報提供（いずれセミナーも）。そして何より、人事・管理職を中心に両立可能な仕事・働き方づくり提案議論

■個人がすること

- ・ハッピーシートをもとに家族や職場と両立策（もしも話）を話し合ってみる（人生・キャリアプランでもある）

はたらく人の介護先進県として、
10年先を行きましょう！

